



西尾の未来を考えて

今のこと、少し先のこと、私たちの西尾がずっと先まで続いていくように、様々な取り組みを進めています。

生涯学習センターの建設工事が始まります

生涯学習センターの整備工事が令和7年度から始まります。この施設は、小学校低学年以下の子どもたちが遊べる屋内遊具を充実させた広場、不登校などの悩みを抱える子ども・若者に寄り添うあゆみ学級やコンパス、外国にルーツを持つ子どもを支援する多文化ルームKIBOU、誰でも利用できる貸室などを備えたものです。



歴史公園南側のテニスコートなどがある敷地内に立地し、令和9年度当初のオープンを目指しています。

多様な個人が他者と共に学び合い、支え合い、励まし合いながら主体的・持続的に学ぶことで、格差や分断のない共生社会を実現していくための象徴的な施設になることを期待しています。

ごみの減量にご協力をお願いします

平成26年度から令和4年度までの9年間、西尾市は1人1日当たりの家庭系ごみ排出量が県内38市中でワースト1位という状況が続いています。

ごみ減量のため、近年特に力を入れてきたのが「雑がみ(紙類)の分別」です。年々回収量は増えていて、令和5年度は約540トン回収できました。雑がみの次に減らしたいと考えているのは、家庭系ごみの中で3割強の割合を占める生ご

み・食品ロスです。生ごみは水分を多く含んでいるので、「もうひと絞り」するだけでもかなり違います。また、食品ロス削減のためには、使い切り・食べ切り・てまえどりの実践が有効です。

ごみの処理には、年間で約20億円もの費用がかかっています。環境のため、そして経費節減のため、ごみ減量へのご協力をお願いします。



西尾市方式PFI事業をめぐる訴訟の結果

契約相手であったエリアプラン西尾から17億円余の金額を請求されていた訴訟について、原告の請求を「理由がない」として棄却した判決が昨年の10月に確定しました。

いわゆる工事の中断により、建物の引渡予定日や工事の終了予定日等を変更せざるを得なくなり、そのことにより負担する

ことになった増加費用としての請求でしたが、これまで市として一貫して主張してきた「常軌を逸した」訴訟であることが改めて裏付けられました。

契約自体は解除されているものの、損害賠償額の確定という問題がまだ残っているので、エリアプラン西尾には、公共の精神を欠く常軌を逸した行動ばかりを取るのではなく、終局的解決に向けた誠意ある対応を望みます。



みんながワクワクするまちづくりを目指してご報告

2025年 春号

中村けん通信

ごあいさつ

「人が輝き、まちが躍動する、*共生・共創のまちづくり」を2期目のスローガンに掲げ、ワクワクする西尾市の実現に向けて取り組んでまいりました。

今号の中村けん通信では、選挙時に掲げた政策目標(公約)の進捗状況を中心に、この4年間の成果についても一部紹介していますので、ご一読いただければ幸いです。

2期目の任期を振り返ると、行政サービスのデジタル化、中心市街地(西尾駅周辺)の活性化、にしおマラソンをはじめとするスポーツ振興など、順調に前進している事業がある一方で、名鉄西尾・蒲郡線の存続と利用促進、ごみの減量など、依然として横たわっている問題があるのも事実です。

残された任期も全力で頑張っけてまいりますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

「ONE NISHIO」でこの難局を乗り越えていきましょう。

西尾市長 中村けん

*共生…多様性の尊重という意味合い、共創…民間と行政が密に連携して取り組むこと



中村けんプロフィール

【生年月日】昭和54年4月25日
【血液型】O型
【家族構成】妻、長男、次男、三男
【学歴】
西尾市立三和小学校 卒業
西尾市立東部中学校 卒業
愛知県立岡崎高等学校 卒業
大阪大学法学部 卒業
【職歴】
元西尾市職員
元西尾市議会議員(1期)
西尾市長(2期)

【好きな言葉】 感謝
【座右の銘】 切磋琢磨
【趣味】 旅行、読書
【好きな食べ物】 チョコレート

- 人をつなぎ未来へつなぐ -

西尾市長 中村けんオフィシャルブログ、SNS



ブログ



フェイスブック



Instagram
nishio_shicho

政策目標進捗状況

(抜粋)

選挙時に掲げた政策目標(公約)について、現在の状況をお知らせします。

子育て、教育

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校司書、日本語教育指導支援員、特別支援教育に関わる人員等の配置を拡充し、子どもたちに寄り添うきめ細やかな教育を推進します。

☆☆☆(75%)

主に小学生以下の子どもを対象とした室内の遊び場を整備します。

☆☆☆(75%)

民営化を検討しながら保育園・幼稚園の園舎の改修・建替えを進めるとともに、3歳未満児の定員を拡大し、待機児童が発生しない受け皿整備に取り組みます。

☆☆☆(75%)

子ども家庭総合支援拠点を設置し、要支援児童や要保護児童の支援体制を強化します。

☆☆☆☆(100%)

入院医療費の助成対象を18歳到達の年度末までに拡大します。

☆☆☆☆(100%)

地産地消により郷土の食文化に触れることを通じて西尾愛を育むとともに、質の高い学校給食を提供するため、市で食材費を賄い、スペシャルメニューを定期的に設けます。

☆☆☆(75%)

医療、介護、福祉

新型コロナウイルスワクチンを安全かつ速やかに接種できるよう、接種会場をさらに確保するとともに、混乱の原因であるワクチンの供給量について、迅速かつ十分な量の確保に全力をあげます。

☆☆☆☆(100%)

大学医局や県の関連部局に医師の派遣を要望するためのトップセールスについて、引き続き積極的に取り組みます。

☆☆☆(75%)

病院経営や医療業界の情報に精通した人材の採用を行い、市民病院の事務機能を強化します。

☆☆(50%)

利用者の要介護度が改善された場合に、事業者報酬を支払うインセンティブ制度を創設します。

☆☆(50%)

一人ひとりが役割を持ち、支えながら暮らしていく「地域共生社会」の実現を目指し、社会福祉協議会や地域包括支援センターの機能強化、認知症対策、高齢者の就労促進等に取り組みます。

☆☆☆(75%)

障害のある方に対する各種相談や情報提供などの支援を強化し、総合的に行うため、基幹相談支援センターを設置します。

☆☆☆☆(100%)

障害者雇用率の向上や雇用の定着を図るため、ハローワークや産業界との連携を深め、市内企業の現場への啓発活動に力を入れます。

☆☆☆(75%)

産業、観光、スポーツ、文化

「スポーツまちづくりビジョン2040」を策定し、老若男女関わらずスポーツに親しむことができ、公式の大会なども開催できる、ソフト・ハードの両面で充実したスポーツ環境の整備に取り組みます。

☆☆☆☆(100%)

ビジネスサポートセンターを設置し、中小企業や小規模事業者の稼ぐ力の向上を図ります。

☆☆☆☆(100%)

中心市街地の賑わい創出を図るべく、中心市街地活性化計画を策定します。

☆☆☆☆(100%)

地域社会の担い手としても重要な役割を果たしている中小企業・小規模企業を支えるべく、中小企業・小規模企業振興条例を策定します。

☆☆(50%)

生産性向上のため、農業をはじめとする産業のスマート化(ICT化)を支援します。

☆☆☆☆(100%)

アサリ資源の回復に向け、大学との調査研究を進めるとともに、県と連携・協力した取り組みを継続します。

☆☆☆(75%)

■ 調査時点:令和6年7月

■ 進捗状況:事業の進捗状況により、以下のとおり5段階で評価しています。

■ 全ての政策目標の進捗状況は

https://www.city.nishio.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_001/003/132/2024manifesto.pdf



全体の進捗率
83.3%

西尾市歴史公園を軸に、文化会館、岩瀬文庫、稲荷山公園を一体として捉えた「観光の顔」を整備するためのビジョンを策定します。

☆☆☆☆(100%)

舞台機能を強化するとともに、より幅広い方々に利用していただけるよう、文化会館の改修を行います。

☆☆☆(75%)

インフラ整備、環境、防災、防犯、消防

西尾市が今後も持続的に発展できるよう、人口増加、産業振興、生活環境整備等の観点から都市計画の見直しを行います。

☆☆☆☆(100%)

吉良地区への大規模工場進出に伴い、電車の利用促進が図られるよう、最寄り駅近辺のロータリー整備を進めます。

☆☆(50%)

一色町生田地区に計画されている産業廃棄物最終処分場建設問題については、他の自治体の取り組みも参考にしながら、住民投票条例の研究を進めます。

☆☆☆☆(100%)

ゼロカーボンシティの表明を行い、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指します。

☆☆☆(75%)

ごみの排出量を削減するため、旧西尾市と旧幡豆郡地域における不燃ごみの排出方法の統一とリサイクル率の向上、生ごみの堆肥化、「ごみ問題を考える市民会議(仮称)」の立ち上げに取り組みます。

☆☆☆(75%)

大型台風や集中豪雨に備え、水路の改修、貯水池の整備、河川改修の要望等、雨水排水対策を進めます。

☆☆☆(75%)

自主防災会への補助金の補助率を上げ、災害時に使用する備蓄品の充実を図ります。

☆☆☆(75%)

市内全域の防犯灯のLED化を実施します。

☆☆☆☆(100%)

その他

当初の事業内容や進め方に大きな問題があった西尾市方式PFI事業については、主に市内の業者であることから、4年間掛けて丁寧な合意解決を目指したが、強いリーダーシップでの早期解決に舵を切ります。

☆☆☆(75%)

「窓口に行かなくてもよい市役所」を目指し、デジタルトランスフォーメーション(行政サービスのデジタル化)を積極的に進めるとともに、高齢者向けのスマホ教室を展開していきます。

☆☆☆(75%)

市のPRと地域経済の活性化に繋がる「ふるさと納税」については、返礼品のラインナップを充実させ、年間寄附額10億円を目指します。

☆☆☆☆(100%)

環境や貧困等に配慮した持続可能な社会づくりを目指し、SDGsを全庁的に推進します。

☆☆☆☆(100%)

職員の人材育成と地域活性化の観点から、公益性が認められる範囲で職員の副業・兼業を認めるとともに、民間企業等への職員の派遣を実施します。

☆☆☆☆(100%)

日本人のみでなく外国人住民の意見も踏まえて多文化共生プランを策定し、国籍に関わらず住みよいまちづくりに取り組みます。

☆☆☆☆(100%)

市が保有する土地や建物等について、地域活性化に資する民間からの提案制度を設け、市有財産の有効活用を図ります。

☆☆☆☆(100%)

あなたの声をお聞かせください!

中村けん後援会にご入会いただける方は、郵送またはメールで【氏名・住所・電話番号】をお知らせください。

【発行元】中村けん後援会

住所: 西尾市高落町堤外51-1

E-mail
kenken_nkmr@yahoo.co.jp

